

第7章 滋賀県の観光

1. 令和6年の観光入込客数

調査方法

①滋賀県観光入込客統計調査

県内の年間入込客数が1,000人以上見込まれる観光地について、市町から寄せられた報告を集計。

②宿泊旅行統計調査

国土交通省観光庁が宿泊事業所に対し郵送またはオンラインで調査を実施。

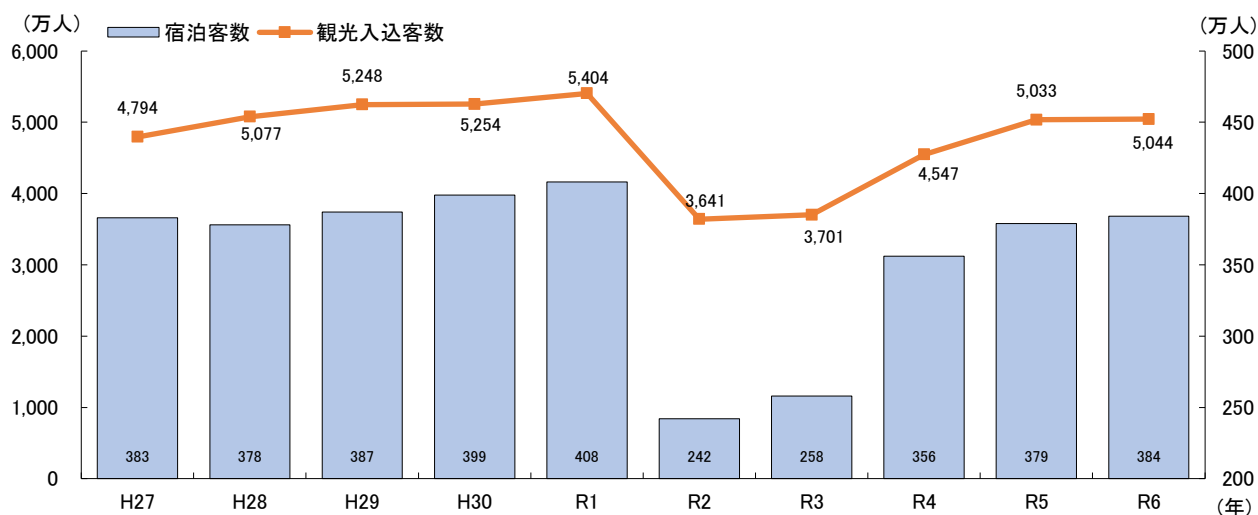
(1) 観光入込客数

令和6年は、大河ドラマ「光る君へ」の放送や、県の観光キャンペーン「いこうぜ♪滋賀・びわ湖」の展開等により、観光入込客数は前年より110,225人多い50,438,261人(+0.2%)となった。

特に宿泊客数については、新規宿泊施設の開業や、新型コロナウイルス感染者の宿泊療養施設の運営終了などにより、前年より51,642人多い3,843,076人(+1.4%)となっている。

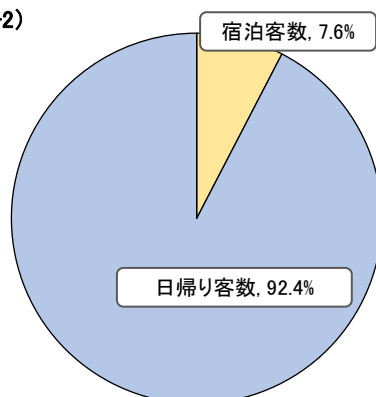
外国人観光入込客数は、全国的な訪日旅行需要の高まりにより、前年より67,212人多い514,541人(+15.0%)となった。(図7-1-1,2)。

◆観光入込客数の推移(図7-1-1)



資料: 滋賀県観光振興局「令和6年滋賀県観光入込客統計調査」

◆日帰り客数と宿泊客数の割合(図7-1-2)

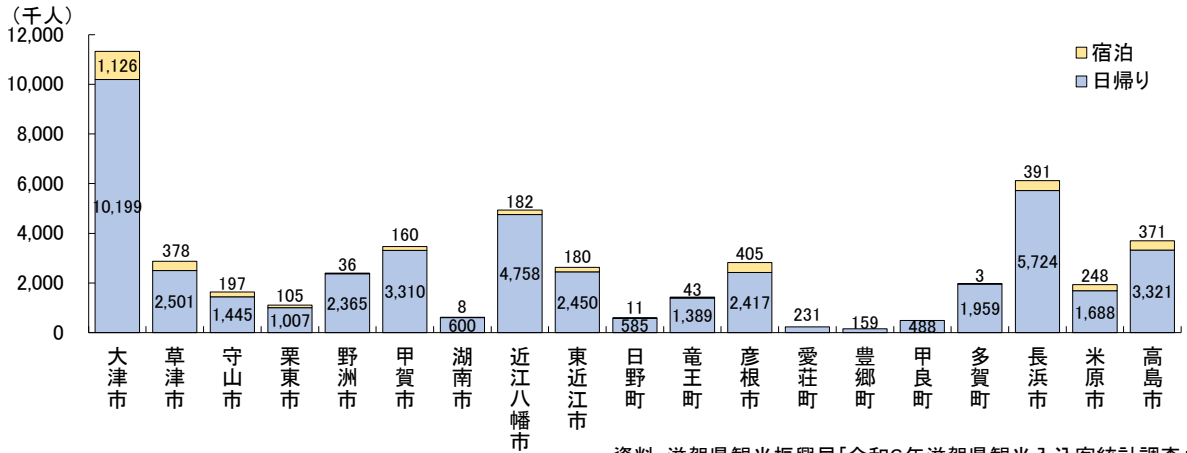


資料: 滋賀県観光振興局「令和6年滋賀県観光入込客統計調査」

(2) 市町別観光入込客数

市町別の観光入込客数は、宿泊客を含む延べ数で「大津市」が約1,132万人で最も多く、次いで「長浜市」約612万人、「近江八幡市」約494万人と続いている(図7-1-3)。

◆市町別観光入込客数(図7-1-3)

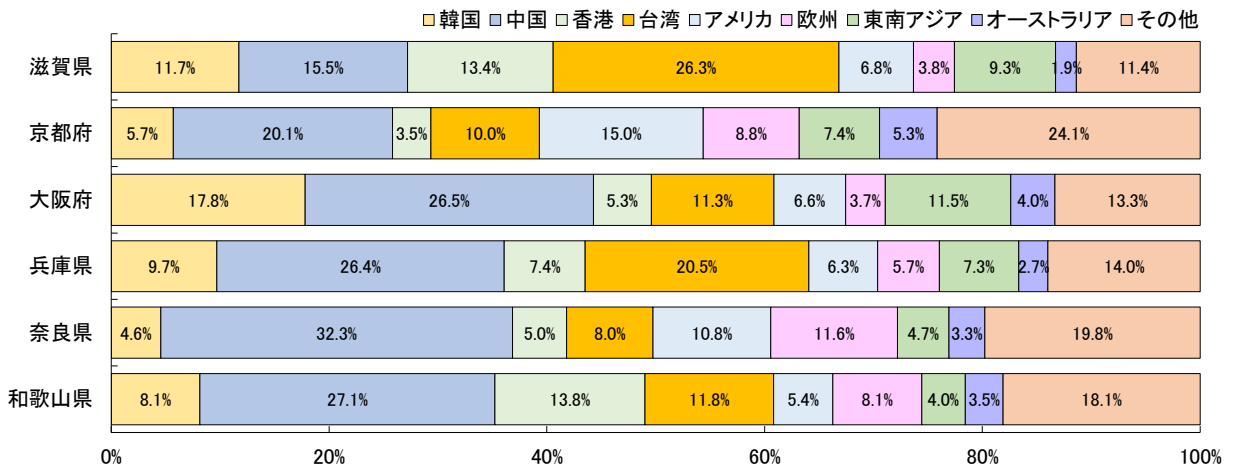


資料：滋賀県観光振興局「令和6年滋賀県観光入込客統計調査」

(3) 近畿府県の国・地域別延べ外国人宿泊者割合

本県の外国人宿泊者数については、「台湾」が全体の26.3%を占めて最も多く、次いで「中国」が15.5%となっている(図7-1-4)。

◆近畿府県の国・地域別延べ外国人宿泊者割合(図7-1-4)



注) 欧州はドイツ・イギリス・フランスの3か国

東南アジアはシンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピンの6か国

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査(令和6年)」

2. 令和6年の観光客の動向

(1) 滋賀県観光統計調査の結果概要

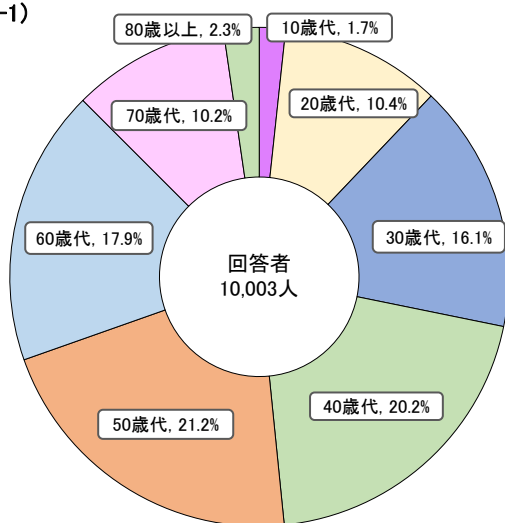
① 調査方法

四半期ごとに県内の観光地30か所において、その地を訪れた観光客に聞き取り調査を実施。

② 来訪者の内訳

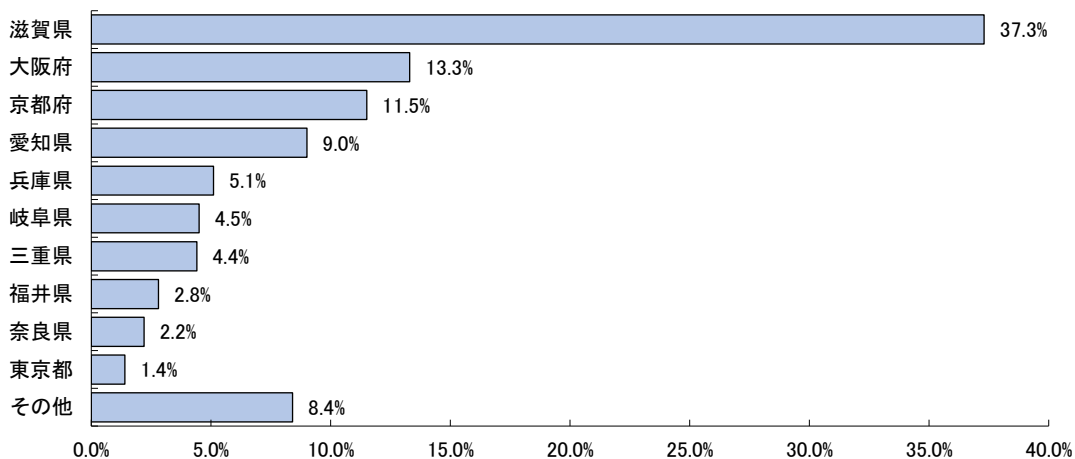
来訪者を年齢別にみると、「50歳代」が21.2%と最も多く、続いて「40歳代」が20.2%である(図7-2-1)。また、居住地別にみると、「滋賀県」が37.3%で最も多く、続いて「大阪府」、「京都府」、「愛知県」の順となっている(図7-2-2)。

◆来訪者の内訳(年齢別)(図7-2-1)



資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」

◆来訪者の内訳(居住地別)(図7-2-2)



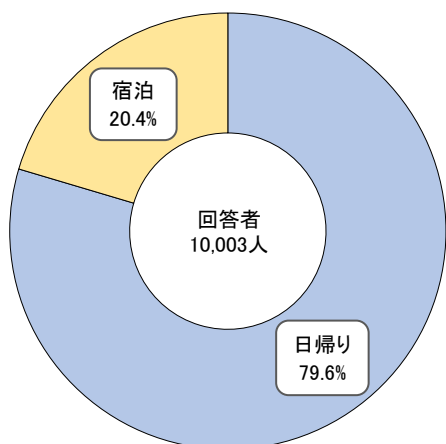
注) 回答者: 10,003人

資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」

③日帰り・宿泊動向

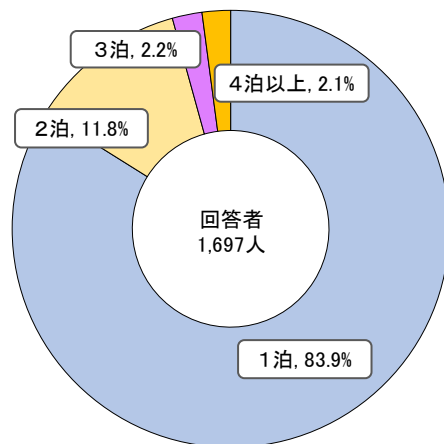
「日帰り」旅行は79.6%、「宿泊」旅行は20.4%であった(図7-2-3)。県内の宿泊数別にみると、「1泊」が83.9%と最も多くなっている(図7-2-4)。

◆日帰り・宿泊動向(図7-2-3)



資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」

◆県内宿泊の泊数(図7-2-4)

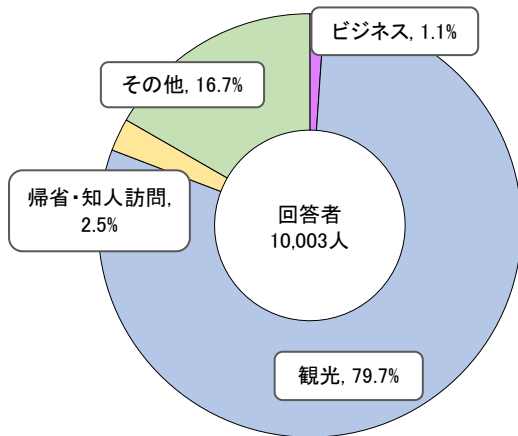


資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」

④旅行の目的

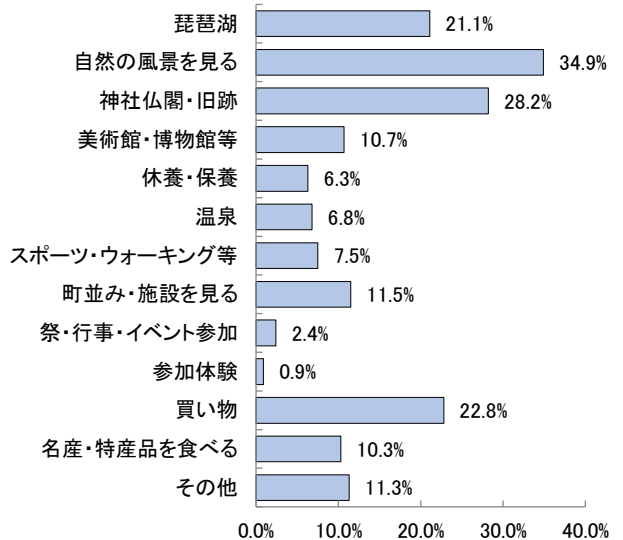
旅行の目的別にみると、約8割が観光であり、その内訳は、「自然の風景を見る」が34.9%で最も多く、次いで「神社仏閣・旧跡」が28.2%、「買い物」が22.8%、「琵琶湖」が21.1%となっている(図7-2-5,6)。

◆旅行の目的(図7-2-5)



資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」

◆観光目的の内訳(図7-2-6)



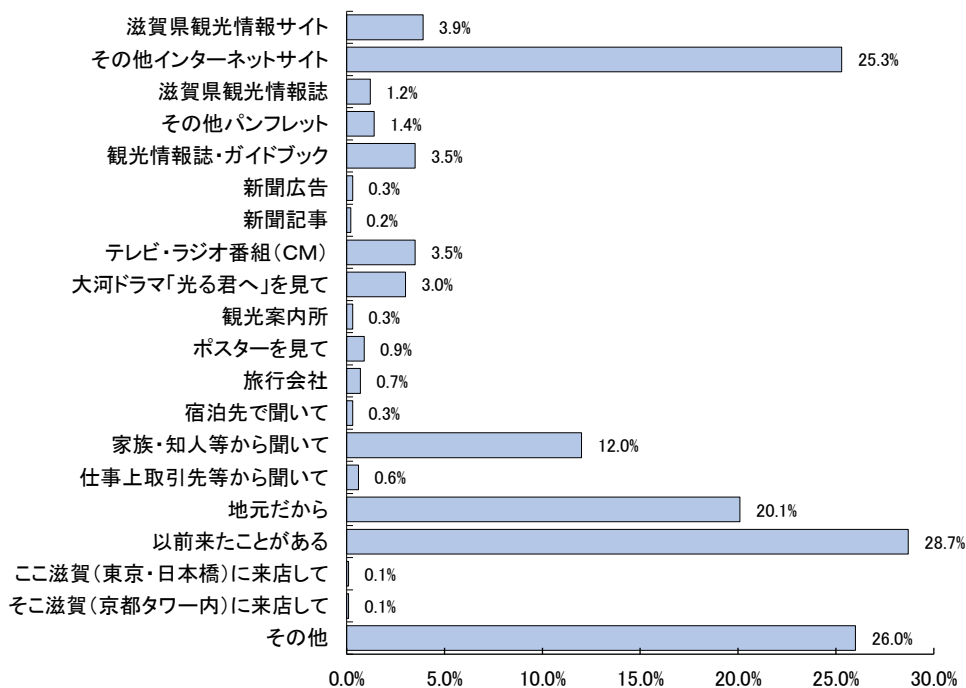
注) 回答者: 7,969人(※複数回答)

資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」

⑤旅行を思い立ったきっかけ

旅行を思い立ったきっかけを尋ねたところ、「以前来たことがある」が28.7%で最も多く、次いで「その他インターネットサイト」が25.3%、「地元だから」が20.1%、「家族・知人等から聞いて」が12.0%となっている(図7-2-7)。

◆旅行のきっかけ(図7-2-7)



注) 回答者10,003人(※複数回答)

資料: 滋賀県観光振興局「令和6年度滋賀県観光統計調査」